

(公財) 地震予知総合研究振興会  
長岡平野西縁断層帯の活動性評価に関する研究委員会 (第24回)

概要報告

1. 日時 2022年3月7日(月) 13:30~16:30

2. 出席者

主査	東北大学	名誉教授	長谷川 昭
委員	東京大学	名誉教授	岩崎 貴哉
	長岡技術科学大学	教授	大塚 悟
	東北大学	准教授	岡田 知己
	地震予知総合研究振興会	会長	金沢 敏彦
	東京大学	教授	酒井 慎一
	名古屋大学	教授	鷺谷 威
	東北大学	准教授	中原 恒
	産業技術総合研究所	グループ長	丸山 正
	横浜市立大学	教授	吉本 和生
事務局	(公財) 地震予知総合研究振興会		

(敬称略)

3. 議第

- (1) 2021年度の活動報告等
- (2) 長岡平野西縁断層帯周辺の地盤構造等の検討—地震波形の数値モデリング(2)—
- (3) 将来発生する地震の断層すべり角は予測可能か?  
—広域応力場から Wallace-Bott 仮説を用いて推定する手法の検証—

#### 4. 委員会の状況

2021年度の活動報告として①地震活動状況等について、②GNSS観測結果等について説明があったのち、観測データを用いた解析、広域の応力場を用いた検討等の幅広い分野における最新の調査研究について話題提供があった。

##### (1) 2021年度の活動報告等

2021年度の活動報告が行われた。

- ① 本検討で整備した稠密地震観測網（AN-net）の維持管理状況および地震活動状況の説明が行われ、委員会では、長岡平野周辺における速度構造と断層の位置関係等について意見交換が行われた。
- ② GNSS観測結果等について、データ処理の状況、観測結果の再現計算等について説明が行われ、委員会では、より深部における地殻変動と断層の関係等について意見交換が行われた。

##### (2) 長岡平野西縁断層帯周辺の地盤構造等の検討—地震波形の数値モデリング(2)—

長岡平野西縁断層帯周辺を対象領域とし、3次元速度構造を用いた波形計算及び観測波形との比較等について検討した結果が紹介された。委員会では、観測波形を用いた地盤構造の高度化等に関して意見交換が行われた。

##### (3) 将来発生する地震の断層すべり角は予測可能か？

—広域応力場から Wallace-Bott 仮説を用いて推定する手法の検証—

日本全域の三次元応力場から、断層のすべり角を推定する手法について検証した結果が紹介された。委員会では、既往の研究と異なるすべり角が推定された断層の解釈等に関して意見交換が行われた。

以 上